

ぜん ぎょう じ
善巧寺報

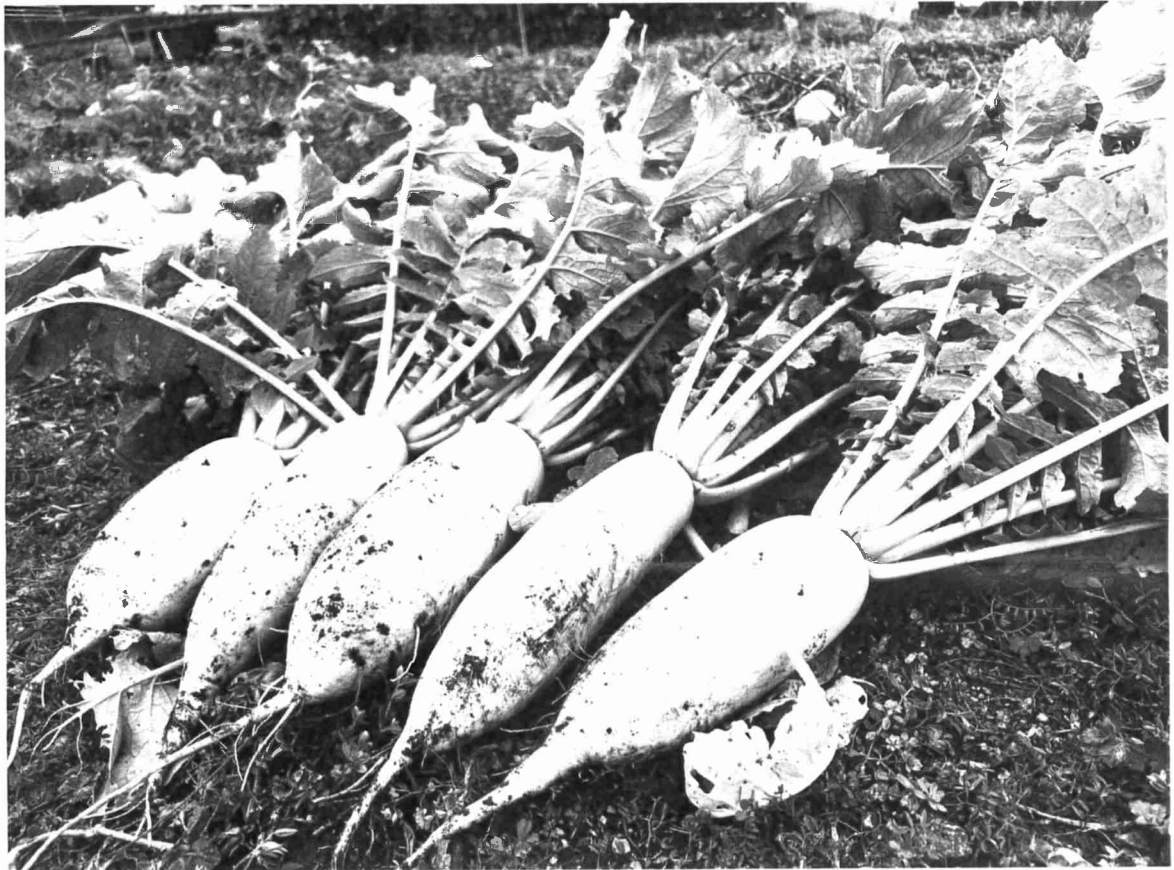
12 月号



檀越のみなさまへ
850
00

月刊◎善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL 048(734)7660
榎本明覚



▼二〇二四年十二月一日▲

東京教区の名品・特産品

～ 練馬大根 ～



定例法座

毎月 十一月

◎十二月十一日(水)午後二時

～三時半

於 善巧寺 法輪会館

「呼ばれて参るお浄土へ」

南無阿弥陀仏は、仏の「呼び声」と言い慣わされてきました。これは親鸞聖人が「南無阿弥陀仏」の「南無」を「本願招喚の勅命」と解釈された事に由来します。思えば、この「私」は、赤ん坊の頃から私のことを大切に思い心配し守ってあげたいと思つて下さる方から、愛情を込めて名前を呼ばれてきました。あなたを決して捨てない、という意味の「阿弥陀」と名乗られた仏もまた、生老病死に翻弄され、自らの力では苦悩から脱せられない「私」に、必ず心穏やかな世界である浄土で仏と成すからどうかたよりにしておくれと呼びかけられていたのです。仏の大悲の塊、真心の塊が私を呼んで下さる声となつて現れたのが「南無阿弥陀仏」であつたのです。

みほとけ会月例会

＊ZOOMミーティング＊

開催日時は、

毎月第一木曜日、第三木曜日

午後八時開始・九時半終了

参加ご希望の方は、

jetifiget@gmail.com

まで

メール送信下さい。

尚、来年一月は寺カフェ@代官山にて新年会を開催する予定です。詳細は一月号にてお知らせいたします。



除夜会・善灯会

～キャンドルナイト～

◎日時 大晦日

午後四時～五時半

◎場所 善巧寺 本堂

◎内容

- ・勤行 『往生礼讃初夜偈』
- ・一口法話 ・堂内境内総点燭
- ・リサイクルキャンドルで境内を荘厳していただいた後、大根炊きの接待が御座います。

元旦会

◎日時 元日 午前八時～

◎場所 善巧寺 本堂

◎内容

勤行 『正信念仏偈(六首引)』

・御文章拝読・一口法話

※一月三日まで三が日勤行として、午前八時よりお勤めいたします。三日皆勤の方には、豪華粗品をプレゼントいたします。

◆◆春日部だより◆◆

◎大晦日のキャンドルナイト、昨年多数決をもちまして「善灯会」と名付けることとなりました。灯は闇夜を明るく照らす事から、仏教では「智慧」の象徴とされます。また同時に明るさは、不安を安心に変える働きがあるので「光明の悲母」と言う表現に代表されるように「慈悲」も表しています。智慧なき慈悲は偏見に陥りやすく、慈悲なき智慧は冷酷に映る事もあります。智慧・慈悲は車の両輪の如く、円かに備わっている事が大切だと言う事です。私はと言えば、智慧の面では「心昏くさとり寡なく」、慈悲の面では大悲どころか「小慈小悲もなき身」だと言わざるを得ません。ただ私には、そうしただけだからこそ私がおるのだぞと呼び続けて下さる永遠の灯たる仏さまがいらっしやいます。なんまんだぶ、悲喜交流の法味を感じながら、今年も暮れていきます。

◎十一日(水)は会館でのご法話後、本堂のお煤払いを行います。ご奉仕いただける方は作業しやすい服装にてお越しください。

◎「せり・なすな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ、これぞ七草」。春の七草のうちの「ほとけのざ」です。お寺の川べりに咲いていたのを、お世話になっている河村さんが見つけて下さいました。一般的には三月末〜五月にかけて開花するのですが、今年の異常気象のせいなのか晩秋に咲いていました。緑の葉っぱの台座の上に、まるでほとけさまが



お立ちになられているような花弁を付けるので「ほとけのざ」と呼ばれます。

◎来る十二月八日(日)午前十一時より、善巧寺第二代坊守善称院釋紀乘(俗名:榎本紀子)の満中陰四十九日法要を善巧寺本堂にて修行した後、後堂の納骨壇に納骨する予定です。生前に賜りました皆様からのご恩とご厚情を肝に銘じつつ、お勤めを致す所存です。また温かい励ましのお言葉、お便りを賜りました事、重ねて厚く御礼申し上げます。

◎本年も皆様のお支えにより寺報発行を続ける事が出来ました。来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

